



社訓*誠意 ～ 社長室だより ～



2020年1月末号

2020年オリンピックイヤーの幕明けである。皆さんはどんな正月を送りましたか？
商売をしていると浮き沈みはつきものであると頭ではわかっているのだが、がこんなに立て続きに押し寄せるものかと久々に落ち込んだ新年を迎えてしまった。
時折みんなに伝えてきた「良いことはおかげさま。悪いことは身から出た錆」を何度も自分に言い聞かせ何がいけなかったか、どう対応しようかと眠れぬ日が続いた。
手足が真っ白になりボタンも留められない程しびれ、かじかみ。みんなにやっごらんと
言った事を一つ一つやってみた。心を整え、深い深呼吸をして頭を上げて自分に言い聞かせる。「クールになろう、考えよう、何ができるか」全ての運行を頭の中で再現。
今連絡できる人間はだれか？動けるトラックは？連絡すべき相手は？頭に浮かぶ人、自社
他社問わずかたっ端から。与えられた使命を達成するために「やれなかった」のか「やらな
かったのか」この差は結果が同じでもその先で大きく違ふと。こんな事で負けてはいけない。
私には守るべきものが有る。今も糸口を見つけられず内心穏やかではないが絶対あきらめ
ない。ピンチはチャンス、別れは出会いの始まり、前向きに考えれば吉に代わると。
でも一人で達成できるものでは無い。この会社で少なくとも飯を食っている皆さんの力が
必要だ。みんなに先ず望むのは笑顔で挨拶ができ、安全運転を心がけ、命を預けるトラック
をきちんと管理し、正しい報告、納品先での対応も言葉使いも社会人としてのマナーを守り
時々頼む運行にも協力してもっと、もっと利益を出してみんなで分配できるように情報や
提案を私に投げかけてくれる事かな～。年の初めに愚痴るな!!とがっかりしないでほしい。
「初心表明・年頭の挨拶」だと受け止めてほしい。そして皆さんも人生色々有るし、思い通
りにいかない事の方が多いと思うだろうが視点を变えて「だろう」ではなく「かもしれない」
と考え直すだけで事故も減るし怒りも収まることを実践してほしい。例えば「前方の交差点
で立っている子供は自分のトラックを見て止まっているだろう」ではなく「子供は飛び出す
かもしれない」と「いつも挨拶しないあいつは俺の事を気に食わないのだろう」でなく
「自分から進んで人と話すのが苦手なのかもしれない」としたら前者ではブレーキに足を
のせるし後者では自分から挨拶して仲良く情報交換ができる仲になる。「人は支えあって生
きていく」そんな基本を忘れないでいてほしい。と皆さんに年の初めに伝えたい。
今年もよろしくお願ひいたします。皆さんにとって良い年となりますよう祈念します。



2月にお誕生日を迎える方



2月 4日 平塚 シモハナ便 田辺 弘志

2月 26日 本社 JALXS 便 松野 喜一郎